



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2019

9月27日号

172
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会 〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

コノウタ



副会長 鈴木 雅 博

5月の総会を経て、副会長に再任しました。また、今年度からは福島県立医科大学附属病院佐藤前技師長の後を引き継いで、学術委員会の委員長を務めさせていただく事になりましたのでよろしくお願い致します。

さて、今年度の日本診療放射線技師会定時総会の資料を見ると、平成31年3月31日現在の福島県の日本診療放射線技師会会員数は481名であり、厚生労働省の常勤換算従事者数843名からすると組織率は57.1%となっています。(公社)福島県診療放射線技師会の会員は659名で組織率は78.2%、県のみのも会員もいる事から組織率は上昇しますが、それでも2割強の方は技師会に在籍していない事になります。

診療放射線技師会は診療放射線技師の唯一の職能団体です。より国民から求められる職種として、医療および放射線診療に関わる予防・診断・治療などの診療放射線技術の向上発展と診療放射線知識の啓蒙並びに会員の職業倫理の高揚により、医療の向上・維持発展に寄与している団体になります。

そんな診療放射線技師会活動の中の一つに学術大会があり、今年度の県学術大会は11月10日(日)に、星総合病院ポラリス保健看護学院メグレスホールで開催されます。演題募集は8月末で締め切りとなっており、24題の申し込みがありました。賛助会員による機器展示は、今年度も行う予定です。また、来年度は第10回東北放射線医療技術学術大会が、放射線技術学会との共催で2020年11月14日～15日にコラッセ福島で開催されます。

学術大会や研究会などへの参加は、技術トレンドや評価実験など理論的に解析した結果などをいち早く知る事ができたり、技術的な知見の蓄積というメリットだけでなく、今後のモチベーションの向上など、会員相互の交流を深めることができます。

今年度の学術大会の演題登録は終わってしまいましたが、大会当日はより多くの会員の方に参加して頂き、来年度の東北放射線医療技術学術大会は地元開催ですので、大会が大いに盛り上がるよう多くの演題を登録して頂ければと思います。

今後、医療改革が確実に進み、我々を取り巻く環境がどんなに変化しても、診療放射線技師会と会員が相互に研鑽しながら、技師会に所属していることへのメリットを感じ、技師会に所属しているから大丈夫だと思えるような団体になっていければと思っております。

最後に、今年度の学術大会から非会員の参加は5,000円の参加費を徴収する事になりました。統一講習会受講のためだけでなく、多くの診療放射線技師が会員として技師会活動に積極的に参加し、会を盛り上げて頂ければと思います。

まずは勉強になりますし、楽しめると思いますので、ぜひ参加してみたいかでしょうか。

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久保 均

皆さま、こんにちは。暑い日々が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

今回は、我々教員のことを少しでも知っていただこうと思い、各教員に対して以下のような問いかけをし、その回答をいただきました。

「あなたの人生を決めたこの1冊」は何ですか？

なかなか最近読書できないなあ…という先生方が多いのではないかと思います。それでも学生時代などはよく本を読まれていたのではないのでしょうか？その中で、実はこれが今の自身の人生に影響を与えた本だな、という本が少なからずあったのではないのでしょうか？今回は各教員にこの問いかけをしてみました。それぞれの教員を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

・久保 均

「別冊宝島137 研究する人生 「理系」の彼らは何をしているのか？」 石井慎二編集 JICC出版局

元々、小中学生時代は“研究者”に憧れていて、電子工作などが好きだったこともあって工学部へ行くのかな…と勝手に思っていたりしていた。で、その後紆余曲折があって診療放射線技師となって病院で働いていたが放射線というものも面白い、検査などで患者さんの役に立っているのも嬉しい、実験をして学会などで発表するのも面白い、とやっている内容は全て気に入って楽しく仕事をしていたのだが、唯一医療技術者ってなんだろう？と思っていた。研究者ではない、医療職ではあるが医師や看護師のようなより患者に近い存在でもない、でもなくてはならないだろうし…とぼんやり考えていたときにこの本と出会った。この本に出会い、昔の研究者への憧れが再燃し私の進むべき道を示してくれた。この本は一般の人に興味を持ってもらうように研究者の生態を面白おかしく紹介している。私の生態がどの程度本書の“研究者像”に合致しているのか評価はしていないが、過去の自分から見ればまだまだ、となるのではなからうか。“研究者”って、しんどいけど楽しい。



・高橋 規之

「最後はなぜかうまくいくイタリア人」 宮嶋 勲 日経ビジネス人文庫

すみません。本書は私の人生を決めたものではなく「私の人生はこうありたい」と思わせてくれた一冊です。イタリア人は、日本人が持つイメージどおり、30分の遅刻は当たり前、人生で一番大事なのは食事、空気は読んだことがない、というのは本当のようです。日本人が本来持っている完璧主義は素晴らしいものですが、私も含め皆さん無理して疲れてませんか？これを読むと、これからの人生をゆるーく生きたくってきます。と言いながら新幹線やまびこが福島駅を3分遅れで発車のアナウンスに、「えー」と思ってしまう悲しさ。まだまだイタリア人にはなれません。



・加藤 貴弘

「闘魂記」 アントニオ猪木 集英社

“この道を行けばどうなるものか 危ぶむなかれ”

この一節で始まる詩。皆さん一度はテレビで耳にされたことがあるのではないのでしょうか？

この詩が初めて活字となって紙面に登場したのが本書になります。

この本を目にしたのは今からちょうど30年前。私が高校卒業を間近に控え、これからの人生をどう生きるべきか、思い悩んでいた時期でした。

本書は、著者であるアントニオ猪木氏が、人生の数々の試練、そして闘いの中からつかんだ真実を読者に静かに語りかけるような構成になっており、著者の現役時代を彷彿とさせる“過激なアジテーション”はそこにはありません。しかし、そこには実際に経験した者にしかなることができない、いくつもの強烈な光を放つ珠玉の言葉の数々が散りばめられており、それらが私の中に眠っていた“闘魂”を呼び覚まし、生きる勇気を与えてくれたことを昨日のこのように思い出します。



本稿を書くにあたり、本書を久しぶりに手に取ってみましたが、30年経っても全く色褪せることなく心に響くものがあることを再確認することができました。そして本書は現在の私と同じ、著者がちょうどレスラー生活30周年を迎えた47歳の時に記した書であったことを知り、大変驚かされた次第です。

2年後に迫った新学部開設に向け、この“闘魂バイブル”を片手に新たな地平を切り拓いていこうと、今、決意を新たにしているところです。

・福田 篤志

「人生で大切なことは、すべて「書店」で買える。：20代で身につけたい本の読み方80」

千田琢哉 日本実業出版社

私の人生を決めた（書籍のうちの）1冊は上記の千田琢哉著の書籍です。一般的に書籍は著者や編集者が時間と情熱を費やし、推敲を繰り返して出版されています。この思考の産物は著者の頭の中で、深い洞察に長い時間を要していることは疑いようありません。ゆえに書店で買える書籍は、様々な分野のエキスパートと語り合える場を提供してくれています。

小学生の頃から体育会系の部活に所属して毎日汗を流してきましたが、書店や図書館も気に入りの場所の一つでした。本に囲まれていると、本を読まずとも自然と知恵がついてくる気がしたのは私だけでしょうか。

科学者は深い洞察の中で新たな視点を提供することが仕事の一つと言えます。洞察の推進力は既存の書籍に対する尊重と反論でしょうか。ニュートンが残した“巨人の肩の上に立つ”という科学的思考を近所の書店でも得ることができる。これを教えてくれた一冊は、私の人生の転機になっています。

本に善し悪しはありません。ライトノベルも楽しいですし、難解な物理学を平易に説明している書籍にも感動を覚えます。皆様も書店に足を運び、気になった本を手にとってみませんか？そこから始まる著者との会話が人生を変えるかもしれません。



・田代 雅実

「ノムダス 勝者の資格」 野村克也 ニッポン放送

東北楽天イーグルスを含む4球団の監督を歴任した野村克也氏の数ある著書の中でも初期の名著です。基礎をおろそかにしない、情報を詳細に分析し活用する、問題意識を常に持つなど、多くの引用や実例を通して野村氏の野球に対する考え方や姿勢が良く分かる本です。「事に臨みて屢々断ずるは勇なり」書中で紹介している、五経の一つ礼記からの引用です。なにかにあたって、その一つ一つを決断するのが真の勇気であるという意味です。勇気について野村氏は、思い定め一つ一つ決心して断行する勇気、どんな障害にも積極的に立ち向かう勇気、そして絶対にやらないという消極の勇気があると書いています。本書に出会ってから、多くの決断をしてきた訳ではありますが、その決断の先に世の中の役に立つ事が出来るよう、常に勇気を持ち続けたいと思います。



～会長 「オンレコ」～

1 「日放技HP更新 会員ページ」

7月6日にHPを止めて新しく更新しました。会員ページもアドレスが変更になっていますので間違えないようにしてください。

2 「会費納入のお願い」

毎年、9月末が会費納入期限です。技師会の大事な収入ですので、宜しくお願いいたします。遅れると会計・財務・地区協議会に多大な負担がかかりますので、早期の納入をお願いいたします。

3 「中学生の医療体験セミナー今年は中止」

2年連続で参加しましたが、今年は予算がなく開催しないとの連絡がありました。技師の仕事をアピールするチャンスでしたので残念です。

4 「統一講習会の県内開催は最後」

今年度は、5回の開催を予定しています。来年度からは、東京の本部での開催となりますので早めに受講してください。

研究会報告

「第99回会津画像研究会」開催

令和元年7月25日(木)会津医療センターにて開催されました。まず、「HCV患者に対するDAA治療前後のEOB-MRIの役割」バイエル薬品(株) ラジオロジー事業部 安達 恭幸 氏よりお話いただきました。EOB-プリモビストは側鎖のエトキシベンジル基の働きによって、投与された全体の約4割が肝細胞に取り込まれて尿中に排泄されるので、排泄臓器に優しい造影剤と言えます。現在普及しつつあり、Interferonフリーで副作用が少なく認容性が高いDAAにより、HCVが排除され高いSVRが得られた後でも、EOB-MRIの肝細胞造影相より非多血性の低信号結節が検出され典型的なHCCに進展することがあるので、DAA前後にEOB-MRIを施行して低信号結節の有無を確認するなど、画像診断によるフォローアップが重要です。

「CT: Deep Learningの画像処理への応用」キャノンメディカルシステムズ(株) 東北支社 営業推進部 CT担当 大西 輝法 氏よりご講演頂きました。Deep Learning(深層学習)とは、急速に進化するAIにおいて重要な基盤となる技術です。このDeep Learningを用いて設計したCTの最新の画像再構成技術をAiCEと呼び、これには撮影時間短縮、低ノイズ、高い空間分解能

による画質向上、再構成の高速化などの効果があります。またワークフローにおいては、プロトコルに組み込んでスキャン連動で再構成することで、AiCEの被曝低減を見込んだ撮影条件を設定する事が可能です。将来的にはモーションアーチファクトなどの低減にも応用されることを切に願っております。



(板橋)

地区だより

会津地区

「第1回会津地区協議会委員会」開催

令和元年7月18日竹田総合病院にて執り行われました。改選の年にあたり地区役員もフレッシュになり、はじめに役員自己紹介がありました。その後、鈴木委員長より、県理事会の報告があり、各役員から県委員会、地区委員会の報告がされました。更に、健康まつり、統一講習会、第100回画像研究会などの事業案について話し合いがされました。



(板橋)

浜通地区

「浜通り地区協議会夏期研修会」開催

令和元年8月31日(土)午後にかんぽの宿いわきにて浜通り地区協議会夏期研修会が開催されました。

講師に富士フィルムメディカルの岩田貴様を迎え「診療用放射線に係る安全管理体制について」という題目で講演をして頂きました。

来年4月に施行される医療法施行規則の一部改正の内容を分かりやすく説明して頂きました。今年9月以降により詳しい情報が発信されるようなので、各施設の準備が進んでいくと思います。

次に浜通り地区学術研究発表会を行い、5つの題目が

発表されました。今回は38人の技師会員の皆さんが参加されました。若い技師の発表の場を提供する目的の発表会なので、スライドの見せ方など勉強されていると感じ大変有意義な時間を過ごさせていただきました。



(大井)

県南地区

「県南地区協議会サマーセミナー」開催

2019年7月27日(土)ビックアイにて、県南地区協議会サマーセミナーが開催されました。メーカーよりAIの基礎と臨床への応用について説明いただきました。後半は、認定資格を取得している技師から、資格についての説明と施設の取り組みについてお話を頂きました。技師の専門性が必要となっていく中で、県南地区のスキルアップを図っていければと考えます。



(國分)

県北地区

「県北地区協議会夏期勉強会」開催

令和元年8月31日杉妻会館にて夏期勉強会が開催されました、講演は「低被ばく。なのに高画質！～最新X線透視装置～」日立製作所上野完様、「救急一般撮影、所見みてポジショニングの重要性を知ろう」山鹿クリニック工藤靖之様の順に進みました。上野様の講演では装置の最新技術が解りやすく説明され、工藤様の講演は救急撮影の注意点など明日から実践すべき内容と感じました。約40人の参加がありました。



「ふくしま健康フェスタ2019」開催

2019年9月8日(日)MAXふくしまにて健康フェスタ2019が開催され、今年も県北地区協議会としてブースを構えました。

画像処理ワークステーションが注目され年齢にかかわらず人気があったようです。

約200名の方がブースに足を運んでくださり、診療放射線技師の役割など良いアピールの場となりました。



(橋本)

『福島県知事功労賞』受賞

保健福祉部門

県南地区 星総合病院

(元 三春町立三春病院放射線技師長代理)

佐藤 政春

受賞者一覧等は福島県ホームページで確認できます。

お知らせ

統一講習会（福島県）開催

2019年度 統一講習会予定

3回目

日時：2019年11月30日、12月1日

場所：総合南東北病院

4回目

日時：2020年1月25、26日

場所：福島県立医科大学附属病院

5回目

日時：2020年2月8、9日

場所：いわき市医療センター

申し込みは日本診療放射線技師会HPよりお願いします。

**会費の納入は
お済みですか？**

編集後記

夏から秋へと季節が移りつつあります、暑すぎた夏でも終わりは少し寂しく感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

健康診断がピークの時期ですね、忙しい中でも丁寧な対応を心がけるようにしていますがうまくいかないことも少なくありません。

日々努力ですかね。

(安藤)